**「部活動における新型コロナウイルス感染症対策基本方針（R3.6月改訂版）」**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　富山聴覚総合支援学校

**１　活動方針**

（１）部活動実施に当たり、生徒及び部活動顧問が十分な感染予防対策を講じて活動する。

（２）校内での通常練習については、富山県の感染状況がステージ１からステージ２（または

それに準ずる状況）において、感染拡大地域等の状況を見極めながら継続して実施する。

（３）大会参加等、学校外の活動の参加については、十分に状況を見極めた上で、学校長が参

加の可否を決定する。

（４）段階的に練習の負荷を高め、生徒のけがの防止に十分に留意して実施する。

（５）生徒の健康・安全の確保のため、部顧問が活動状況を確認しながら活動を進める。

**２　部活動実施時の感染防止対策**

・本校では、新型コロナ感染症対策に関する各ガイドライン及び富山県教育委員会「県立学校

における部活動の取扱いについて」等の各通知に基づき、以下の感染防止対策を講じる。

①生徒の健康状態の把握に努め、風邪症状及び体調不良の生徒には参加を見合わせるよう指

導する。

②卓球台の設置及び休憩場所は、十分な間隔をとって設置する。

③常時換気して行う

④更衣は、所定の場所で行い、密にならないように留意する。

⑤体育館の出入りの際は、手洗い・消毒を行う。

⑥消毒について

　・複数の生徒が触れる場所（ドアノブ、卓球台等）は、練習前後に消毒する。

・ラケット等の個人の用具は、毎日、生徒が消毒・管理する。

・複数のものが同じボールを使用しない（複数コートのボールの混在を避ける）よう練習の合間に交換または、消毒する。

（台所用合成洗剤を使用。アルコール、次亜塩素酸ナトリウム等は、ボールの品質に悪

影響を与えるため使用しない。）

⑦熱中症の予防と感染症の予防の観点から、練習中はマスクを外す。但し、会話や掛け声等

は慎むようにする。準備、片付け、打ち合わせ等の場合はマスク着用を基本とする。

⑧飲料は、各自水筒を準備し、回し飲みをしない。お茶の補充は、部顧問が行う。

⑨マイタオルを持参し、共用しない。また、卓球台やシューズの裏で手を拭かない。

⑩ダブルスや、団体戦を行う場合、大きな声を出さない、ハイタッチをしないなど「飛沫感染」「接触感染」対策を十分に行う。

⑪活動終了後は、速やかに帰宅する。

**３　その他**

　　・集団での活動に対して、感染の不安を感じる生徒（家庭）には、参加を無理に促さない。

　　・大会の参加については、個々の生徒の意思を確認して検討する。

　・今後、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に変化が生じた際には、基本方針の変更を協

議する。

**＜参考ガイドライン及び通知＞**

○「新型コロナウイルス感染症に対応した学校再開ガイドライン」R2.3.24文部科学省

　〇「スポーツ活動再開時の新型コロナウイルス感染症対策と熱中症予防について」

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（公財）日本スポーツ協会

○「県立学校における教育活動の再開及び再開後の対応について」R2.5.27富山県教育委員会

　 　学校再開後における教育活動の留意点について（別記１）

○「日本卓球協会における新型コロナウイルス感染症対策」　　　　　　　日本卓球協会

〇「新型コロナウイルス感染症対策の更なる徹底について」R3.4.22富山県教育委員会

別紙「県立学校における部活動の取扱いについて」